

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士（ 教育学 ） Ph.D.	氏 名 (Candidate Name)	周 鵬程
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 「水中安全教育」に関する認識と態度についての実態調査 —中国浙江省の大学生と大学の水泳教員を対象に—			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教 授	齊藤 一彦
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教 授	上田 毅
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教 授	永田 良太
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授	柳岡 拓磨
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、中国浙江省を事例に、浙江省の大学生および大学の水泳教員を対象として、「水中安全教育」に関する認識と態度の実態を明らかにすることを目的としたものである。本論文は、以下の5つの章で構成されている。</p> <p>序章では、中国と海外の「水中安全教育」の現状について概観し、中国の大学における「水中安全教育」に関する先行研究の検討を行った。その上で、本論文で取り組むべき課題を明示している。</p> <p>第1章では、中国浙江省の大学生を対象とした「水中安全教育」に関する認識と態度のアンケート調査結果から、中国浙江省の「水中安全教育」の実態について、分析を行った。その結果、『『水中安全教育』に関する知識』と『『水中安全教育』に関する技能』について、授業を実施している対象者からは、一定の教育成果が表れていることを示している。一方で、「水中安全教育」の一環である着衣泳に課題を抱えている可能性を指摘している。また、浙江省の大学生は「水中安全教育」に対し、全体的に肯定的な態度を持っていると同時に、『『水中安全教育』に関する認知』および「遊泳時の決まり事を守る態度」に課題があることが明らかにしている。</p> <p>第2章では、中国浙江省の大学の水泳教員を対象とした「水中安全教育」に関する認識と態度のアンケート調査結果から、「水中安全教育」の実態について分析を行った。その結果、「水中安全教育」に関する態度の平均値が高値を示したことを明らかにしており、性別による差異が認められなかったことも示した。加えて、教員養成段階において、「水中安全教育」に関する認識を育む教育内容は充実してきていることを示している一方で、30代の水泳教員の「水中安全教育」に関する知識に課題があることを明らかにしている。</p> <p>第3章では、第1章と第2章で明らかにした浙江省の大学生および大学の水泳教員の「水中安全教育」に関する認識と態度の実態を踏まえ、浙江省の「水中安全教育」が中国全土に転用される際の課題についてまとめている。</p> <p>終章では、本論文の総括と成果について整理し、今後の課題を示している。</p> <p>本論文は、次の3点で高く評価できる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 浙江省の大学生における「水中安全教育」に関する認識と態度の実態を明らかにしたこと。</li><li>2. 浙江省の大学の水泳教員における「水中安全教育」に関する認識と態度の実態を明らかにしたこと。</li></ol>			

3. 浙江省の「水中安全教育」が中国全土に転用される際の留意点を明らかにしたこと。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（教育学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 6年 7月 31日

備考 要旨は、A4版2枚（1,500字程度）以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed A4 size, 2 pages (about 500 words).)